

史学論叢

第 37 号

論 文

- | | | |
|--------------------------|---------|----|
| 元和元年一国一城令の影響
—筑前国の場合— | 中 村 修 身 | 1 |
| 「豊後波越窯跡」表面採集資料による考察 | 上 野 淳 也 | 12 |
| 阿波国蜂須賀氏の支城「阿波九城」について | 福 永 素 久 | 37 |
| 平成18年度 修士論文・卒業論文題目 | | 60 |

論 文

- | | | |
|---|---------|----|
| 近代における別府鉄輪温泉の諸相 | 大 山 琢 央 | 1 |
| 文化財学的研究におけるボーリング調査の役割
—磨崖仏の調査・保存を例として— | 山 路 康 弘 | 16 |
| 天和元年の越後国高田城受け取りについて | 白 峰 旬 | 33 |
| 寛文6年の丹後国宮津城受け取りと籠城のロジック | 白 峰 旬 | 73 |

動 向

別府大学史学研究会

平成19年3月